

題だと思いが。

**町長** 平成25年度では、14町内会が参加する予定になっている。電気が、もし停電してしまったらということ、ポータブルストーブを用意している。

**質問** どのくらい用意しているのか。

**町長** ストープは15台。LEDランタンは問寒別に10個、幌延に20個。毛布50枚くらいを用意している。

**質問** 冬場の除雪については。

**黒金総務課長** 防災箇所は22カ所。各小中学校、生活センター。除雪については各町内会にお願いしている。大きな災害があった場合は、現実には小さな集会所に避難することは不可能と考えている。

**質問** ポータブルストーブもあるが、天塩町の夕映などでは廃プラスチックを燃やしてお風呂を沸かす研究などもある。

**町長** 考える。検討したい。



西澤 裕之

### 子育て支援について

**質問** 就学前児童を持つ世代の支援ニーズをどのように捉え、どう町政に反映させていくのか。

**町長** 次世代育成支援地域行動計画策定時のアンケート調査では、保育所費用、安心できる医療体制、子供と過ごせる場所づくりが上

**Q**、保育所に入所できなかった世帯への対応は、人材を確保し、子育て支援を実施して行く、直接処分の研究を誘致すべきと考えるが、議会の意見聞いて判断する必要はある位を占めていた。

また、どう反映させて行くのかについては、保育所機能の開放、相談や交流場所の提供など、子供や保護者に対する支援を検討している。

**質問** 保育所に入所できなかった世帯にどう対応するか。

**町長** 本町で実現可能な事業展開ができないかを検討し、実施のための人員確保が可能であれば対応も可能と思っている。

**質問** 人材が確保できれば支援をしていくという考えで良いのか。

**町長** 1名確保できたというところで実施できると思う。

**質問** 子育て支援サークルの活動を行政が支援することで、子育て支援の充実が図られるとともに、2年後の子育て支援センターの運営につながっていくものと考えている。子育て支援事業を前倒しで実施できないか。

**町長** 子育て支援事業の実施は認定子ども園への運営につながっていくと、同様の認識をしている。町としても人員確保が必要と考え募集をしたが、採用には至っていない。再度募集を行っていきたいと考えている。

### 深地層研究センターの関連研究について

**質問** 直接処分の研究は3者協定の趣旨に違反するものではなく、幌延深地層研究センターに関連する研究

の1つであり、積極的に誘致すべきだと考えるが。

**町長** 考え方によっては協定に違反するという見方もあるし、違反しないという見方もある。そういう中で、仮に国等から直接処分の研究をという話があった場合には、議会に話をして議論をしていただきたいと思っ

ている。また、3者協定の当事者である北海道や原子力機構とも、協議をしなければと思う。

**質問** 担当部署に予算付けをし誘致活動をすべきと提案をしたが、それが行われたのか。

**町長** 資源エネルギー庁及び文部科学省を訪問し、予算確保の要請とともに、本



齋賀 弘孝

**Q**、全国大会参加選手を、庁舎に垂れ幕で応援する気持ちはないのか  
**QA**、意見の分かれるところである、電灯需要家を契約者に再交付していく気持ちは、納付金の再開検討したい

**質問** 共生型グループホーム建設を考究したのか。

**町長** 職員の確保が重要。運営にも多くの課題が予想されることから早急な建設



深地層研究センター

町での調査研究事業の展開を要請してきた。また、原環センターの研究発表会に参加し、調査研究事業に関する情報収集などを行った。  
**質問** 直接処分にに関する情報収集もしていただきたい。  
**町長** 情報収集をすることについては問題ないと認識している。できるだけ情報をつかんでいきたいと思う。

はしないとの判断に至る。

**質問** なぜ2期8年の実績ある町長が公約としたのか。  
**町長** 共生型グループホームをすることは言い切ってい